

別紙2-3 (様式2)

平成18・19年度我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業研究成果報告書

ふりがな	かなざわしりつみそぐらちようしょうがっこう
学校名	金沢市立味噌蔵町小学校

校長名：織田静代

I 学校の概要

1 学校・地域の特徴

金沢城や日本三名園の一つである兼六園を校区にもつ本校は、歴史と伝統文化、温もりのある教育環境に恵まれた町の中心にある。本校区は百万石の城下町として栄え、今も町には大樋焼き、金箔、和菓子、加賀友禅、加賀宝生などに携わる人たちが多く住んでいる。

2 学校の概要 (平成19年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
児童数	44	40	42	50	52	52	1	281

II 研究の内容及び成果等

1 研究主題

(1) 研究主題

自ら考え、自ら行動する子  
～ときめき かがやく 味噌蔵～

(2) 研究のねらい

金沢の伝統や文化を自分で調べたり、体験することにより、それらにかかわる人たちの願いに迫り、伝統と文化に対する関心を深め、大切にしようとする心情を育てる。

2 研究の取組概要等

(1) 取組の概要

① 3年生

- ・前田利家音頭を踊ろう (体育、特活)
- ・金沢の伝統文化について調べよう (社会、総合)

② 4年生

- ・加賀鳶木遣り唄 (音楽、総合)
- ・MY加賀友禅 (社会、総合)

③ 5年生

- ・加賀宝生「羽衣」に挑戦 (音楽、総合)
- ・NHK子ども放送体験 (国語、総合)

④ 6年生

- ・ようこそ、荒子小のみなさん (国語、総合)
- ・子どもまいどさん (国語、英語、総合)

地域と学校との結びつきを深めることをねらいに外部人材は「校区内から選ぶ」ことにこだわり実践を行った。

(2) 指導の実際

① 6年生の実践1

「ようこそ荒子小学校のみなさん」(6月)

毎年6月に荒子小(名古屋)の6年生が修学旅行に金沢を訪れ、6年生同士交流を行っている。本年度は、お互いの伝統文化を伝え合うというテーマで交流会を行った。共通する「前田利家公」をキーワードに本校は加賀宝生「鶴亀」、荒子小学校は「前田利家音頭」を披露し、お互いの伝統文化を認め合い尊重することができた。



加賀宝生「鶴亀」を披露



前田利家音頭を披露

② 6年生の実践2

「子どもまいどさん」(4～3月)

本物のまいどさんから「金沢スポットの案内」の仕方を学び、6月に荒子小の児童を案内した。冬には英語でまいどさんをし、留学生を案内した。



子どもまいどさん



英語で子どもまいどさん

3 成果と課題

体験学習は準備と時間がかかるという課題が残された。しかし、体験重視の学習を通して、子どもたちは、伝統文化にこだわる職人の心意気、熱い思いや温かい人柄を感じ取ることができた。又、子ども同士や地域の人たちとのかわりも深まり人間関係が豊かになった。

### Ⅲ 指導事例

都道府県・指定都市名 石川県

学校名 金沢市立味噌蔵町小学校

教科等	総合的な学習	学年	3	単元名	金沢の伝統文化について調べよう
単元のねらい	金沢の身近な伝統文化について調べる。又、調べたことや体験したことを発表したり、お礼の手紙を書いたりする活動を通して、金沢のよさを感じ取る。				
取り扱う伝統文化	金沢の和菓子文化、加賀鳶				
◇単元の概要					
<p>金沢のお正月と伝統文化を関わらせながら新聞やインターネット等を活用し調べる。又、課題を持って学校の近くの和菓子屋さんの工場を見学したり、和菓子づくりの職人さんから和菓子の作り方を教えてもらったりする体験を通して、金沢に伝わる伝統文化のよさを実感する。</p> <p>&lt;関連教科&gt; 社会「火事がおきたら」 社会「工場ではたらく人」</p>					
◇単元の指導計画（全19時間）					
時間	主な学習内容、学習活動等			教師の指導、取組体制（外部人材の活用等含む）等	
4	<p>○金沢の和菓子について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢のお正月の和菓子について知り、課題を持って家の人に聞いたり、調べたりする。（「福梅」「辻占」「福德」）</li> <li>・金沢の和菓子を食べて味わう。</li> <li>・お正月の和菓子について調べたことをまとめる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・色・形の美しい和菓子の写真を提示し、調べたいという意欲を喚起させる。</li> <li>・実際に調べる活動の中で、色・形だけでなく食べてみたいという関心を深める。（手づくりの「花びら餅」やお正月用のお菓子を保護者の方が持ってきてくださったお陰で、意欲的に学習に取り組むことができた）</li> </ul>	
4	<p>○金沢のお正月の伝統文化について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出初め式、加賀鳶、加賀のまといについて、新聞記事をもとに調べる。</li> <li>・昔の消防について調べる計画を立て、たねっとランドから知りたいことを調べる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月の和菓子から金沢のお正月の伝統文化に視野を広げる。</li> <li>・お正月の新聞記事に目を向けさせ、社会科の学習と関連させ、出初め式や加賀鳶等のお正月の伝統文化について関心を広める。</li> </ul>	
2	<p>○昔の火消しについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の消防団の方から、加賀鳶の歴史について話を聞き、木遣り唄を習う。</li> </ul> <p>○木遣り唄を覚えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の火消しのおめでたいときに木遣り唄を歌ったことを知り、昔の火消しの心意気を唄を通して学ぶ。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の消防団の方を招き、社会の学習と関連させながら、今と昔の消防の違いについて説明を聞く。</li> <li>・加賀火消しについて理解し、消防団の方から加賀鳶木遣り唄を習う。</li> </ul> <p>（外部人材として地域の消防団を招く）</p>	
9	<p>○上生菓子をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの和菓子を紹介し合う。</li> <li>・和菓子工場を見学する。</li> <li>・見学記を書く。</li> <li>・和菓子の作り方を教えてもらいながら季節の上生菓子を作ってお茶菓子とともにいただく。</li> <li>・写真を貼り付け、和菓子づくり体験記を書く。</li> <li>・お礼のお手紙を書く。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい和菓子の秘密を見つけるために、工場見学したり、見た目（色・形）が美しい和菓子を実際に自分たちで作って食べる計画を立てる。</li> <li>・和菓子工場を見学し、見学記を書く。</li> <li>・上生菓子づくりの後、自分で作った上生菓子を使って茶道体験をする。</li> <li>・この単元でお世話になった人たちにお礼のお手紙を書く。</li> </ul> <p>（外部人材 和菓子づくりの職人、保護者）</p>	
◇本事例による成果と課題					
<p>(1) 外部人材や団体、教材開発等に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の人材は全て校区内から選んだことにより、地域と児童とのかかわりを深めることができた。</li> <li>・昨年度に教材開発した「上生菓子づくり」は、単元の導入で「金沢のお正月の和菓子」を素材に課題を明確にすることにより、調べる意欲を喚起させることができた。調べたことや体験したことをことばで表現することに力点をおいたため総時数が多くなってしまった。</li> </ul> <p>(2) 児童・生徒の活動状況等に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触れ合う中で地域の方の温かい人柄や職人の技のすごさや伝統を守り生活している人たちの心を知り、自分たちの生活を見直すことができた。活動後に、お礼のお手紙を書き心の交流を持つことができた。伝統文化を教材化することにより、自分たちが育った金沢に誇りをもつことができた。</li> <li>・地域の方との打合せを十分に行うことができなかった。</li> </ul>					